

平成29年度 地域懇談会 報告	
日 時	平成29年10月21日（土） 午前10時から11時まで
場 所	豊浦交流センター
出席人数	(1) 市 民 10人 (2) 事務局 教育長、教育部長、学務課長、学務課課長、 適正配置推進室職員 計16人
内 容	(1) 教育長あいさつ (2) 学校適正配置の検討趣旨について、教育部長から説明 (3) 学校適正配置基の検討状況について、事務局から説明 (4) 意見交換
意見交換	<p>(質問) (豊浦学区) 今後、小学校への入学が見込まれる子どもに関する推計はあるか。</p> <p>(事務局) H29.5.1現在の小学生が8,510人です。H29.3.1現在の0～5歳児が、小学校1～6年生になったときの推計は、約7,000人。今後、出入りはあるだろうが減少している。社人研（国立社会保障・人口問題研究所）の推計でも、今後の10年間で約24%の減少となっている。</p> <p>(質問) (豊浦学区) 計画期間はどのくらいを考えているか。</p> <p>(事務局) 実際のスケジュールについても、来年度検討しようと考えている。おおむね10年程度先を見越したものと考えている。</p> <p>(意見) (豊浦学区) 現在の豊浦中は、クラス替えもできる良い環境にある。教科によって少人数指導が行われている。このような教育は、大いに進めてほしい。 通学路の安全確保という点だが、豊浦小付近の新しくできた道路は、見通しが悪く周辺環境も良くない。現在は通学路としていないが、通れば通学時間が5～10分違ってくる。早く周辺環境の改善を図ってほしい。</p> <p>(教育長) 最近、その辺りを通ったが、子どもたちを通すには、環境が整っていないと感じている。早期に関係課と調整できるようにしたい。</p> <p>(意見) (豊浦学区) 国道のパチンコ店脇を通学路としているが、車両とすれ違う時、子どもたちは段差のある側溝の上を歩いている。危険なので対処してほしいと前から要望している。小学校入口も歩道が整備されると言われているが、なかなかできない。通学路の安全確保をしてほしい。</p> <p>(事務局) 数年前から、国・県の関係機関や市の関係課を交えて、通学路の安全点</p>

検を行っている。今回の要望も、関係課と共に安全確認を行い、対応していきたい。

(意見・質問) (豊浦学区)

適正配置については、子どもたちの健全育成を第一に考えていると思う。豊浦地区は、卒業後も残る人も多く、学校と地域がうまくいっていると思う。

「地域とともにある学校づくり」とあるが、地域住民にとっては大事なことと思う。統合ということになったとき、どちらの校舎を使うのか、中間に新校舎とするのか、具体的な構想はあるか。他市町村の事例はあるか。地域と学校の関係から質問した。

(事務局)

具体的なものは持っていないが、いろいろなパターンが考えられる。地域の皆さんと意見交換しながら、地域との関係を維持していくにはどのような形が良いか考えていきたい。現在は、市としての具体的な考えはない。

(教育部長)

全市的な小中一貫教育や学校運営協議会（コミュニティスクール）の導入などを考えている。今年度は、会瀬小と駒王中を学校運営協議会のモデル校として取り組んでいる。

現在の学校評議員会は、意見を聞く場であるが、学校運営協議会になると、地域の皆さんが運営に関わることになり、学校と地域との関わりがさらに深くなる。

他市町村の例を見てみると、合併前の旧市町村を超えた統合は難しいようだ。机上で検討はしているが、実際は難しいことも多いと思う。地域の皆さんとともに考えていくしかない。

(意見) (豊浦学区)

子ども会活動が衰退していくのは、学校教育の中で子ども会活動をおろそかにしているからではないかと思っている。

学校教育の中では横並び（学年）の集団しかないように感じている。縦社会の教育環境として、子ども会の役割を見直し、学校に担当の先生をつけるなど、子ども会を推奨してほしい。

(教育部長)

子どもが減って集まりにくくなり、どこでも維持が難しくなっている。学校でも、部活動など縦の関係を意識した取り組みをしている。

(意見) (豊浦学区)

子どもの多い少ないではないと思う。人数が少なくでも子ども会として残っている所はある。教育の中の1つの単位だと思う。

(教育長)

子ども会の活動と学校の活動とを整理してきた。子ども会や交通安全母の会などは自主的な活動とされている。子どもが多かった時と同じままの活動では、保護者もいろいろな事情から活動ができなくなっている。

（ひとり親家庭が増えていることや日中働いているので役員ができないなど、保護者が関われない事情が増えている）学校でも危機感を持っていて、学校子ども会として、縦割り活動をしている例もある。

(意見) (豊浦学区)

指導者の意識も変わってきている。活動に関する保険のことなども知ら

ずに活動している人もいる。子ども会担当の先生を置いてもらえれば変わってくると思う。

(教育部長)

姉妹都市(親善・友好都市)の桐生市でも同じような状況があるようだ。子ども対象のイベントがあると、子どもの取り合いになる。昔は、近所に子どもがいたので遊びの中で自然に人間関係が学べた。そのような環境を大人たちがどのように整えていくかが大切だ。

(意見) (豊浦学区)

「小学校2学級、中学校3学級」を基準とするとあるが、3学級だった学年が、1人足りないために次の年には2学級でギュウギュウになることもある。国の基準はあるだろうが、日立市として低学年だけでも幅を持たせてほしい。

(事務局)

学級数を増やすことは教員(学級担任)を配置するという事なので、難しい部分が多いが、できるだけ少人数教育ができるように工夫している。今後とも、国・県への働きかけをしていきたい。

以上